

核兵器禁止条約発効まであとわずか 船橋でも「平和の波」行動

核兵器廃絶を求める「平和の波」行動で訴える齊藤和子前衆院議員と丸山慎一前議員

8月7日・船橋駅北口



マイクを握って核兵器廃絶を訴え被爆者署名に取り組み「平和の波」行動の参加者

8月7日・船橋駅北口



日本原水協（原水爆禁止日本協議会）が呼びかけた「平和の波」行動が船橋市内でも行われました。

広島に原爆が投下された8月6日から長崎の9日まで、全国各地で核兵器廃絶をかかげて取り組み、船橋駅北口でも新日本婦人の

会のみなさんが中心になって、被爆者国際署名などが行われました。参加者は「核兵器禁止条約の批准国も増え、あと7カ国で発効します。日本政府に批准を求めましょう」「ヒバクシャ国際署名に平和への思いを託してください」と訴えました。

通りかかった若者などが署名に名前を書き込んでいました。

日本共産党地域支部が 成田街道の調査結果を土木事務所に要請

日本共産党前原東支部が8月25日、県葛南土木事務所にたいして成田街道の危険箇所対策や段差の解消などを要請しました。

支部では、3月27日と4月21日の2回にわたって成田街道（国道296号線）の前原駅入口から葉園台駅入口までの間を実際に歩いて調査しました。

うことさえできません。しかも段差や電柱などが邪魔をしています。こうした状況を少しでも改善させようと、自ら調査してこの日の要請になったものです。



現地調査の結果を地図にまとめて県葛南土木事務所に要請（右側）

成田街道の危険箇所を調査する日本共産党前原東支部のみなさん

市民アンケートを受けて現地調査 危険な交差点の安全対策を市に要請

市民アンケートで寄せられた危険な交差点を共産党高郷支部が調査

8月6日・西葛野



左の写真をご覧ください。この交差点では、手前の狭い道路が優先になっています。しかも実際に走ってみると、右の道路が見えづらいの

にカーブミラーがありません。実はこの交差点は、日本共産党船橋市議団が取り組んでいる市民要望アンケートで「危ないので改善してほしい」との要望が寄せられた場所です。これを受けて8月6日、この地域で活動している日本共産党高郷支部が現地調査を行いました。そしてちょうどそのとき、目の前で急ブレーキの音が生じ、あわやという状況を目撃しました。

ゴミを捨てに来ていた女性に話をうかがったところ、「この交差点は事故が多くて、危ないと思うことがずいぶんありました」とのことでした。

この日の調査を踏まえて、道路を管理している船橋市に「交差点部分に色を付けて目立つようにする」「狭い道路の交差点手前部分に『交差点あり』の表示をする」「カーブミラーを設置する」などの安全対策を要請したところ、「検討する」とのことでした。一刻も早い実施が求められています。

船橋市の「行財政改革」を考える学習会開催

「こんな行革はイヤだ！」市民連絡会が8月9日、市の「行財政改革推進プラン」を考える学習会を開き長澤成次千葉大学名誉教授が講演しました。

いる保健所が減らされてきたのも新自由主義の弊害だ」と指摘。「公民館も各地で削減や利用料が値上げされている。憲法26条にもとづき学習権を保障する公民館は無償であるべきだ」と述べました。また「運営を民間に丸投げする指定管理者制度で、人件費削減による公的ワーキングプアや経費節減のための受益者負担の強化が進む。2008年の社会教育法改定では衆議院文部科学委員会と同制度導入の弊害を認め、公民館を守る住民運動も広がっている。市民の学びこそが力だ」と強調しました。



長澤氏は「新型コロナウイルス禍で、効率化や規制緩和を求める『新自由主義』の矛盾があらわになった。地域の公衆衛生を担い頑張っている

参加者から「公民館の役割を知り、利用料値上げにますます危機感を持った」などの発言が活発に行われました。